

やまぎん

アジアニュース

2020年3月

●釜山支店Tel010-82-51-462-3281 ●青島支店Tel010-86-532-85766222 ●大連支店Tel010-86-411-83705288
●香港駐在員事務所Tel010-852-2521-7194



【タイ駐在員】

バンコクの交通事情（進化を続ける都市交通②）

1. はじめに

前回はタイにおける交通手段のうち、近年進化を遂げている鉄道・電車についてご紹介しました。鉄道・電車は重要な移動手段ではありますが、タイには鉄道・電車だけでは辿り着けない場所も多く、また年中気温が高いタイで快適に移動するためにはタクシー、バイクタクシーが欠かせません。今回はタイのタクシー、バイクタクシー事情についてご紹介します。

タイのタクシー料金は日本ほど高くなく、距離にもよりますが数人で移動する場合は、バンコク市内を走るバンコク・スカイトレイン（BTS）やバンコク・メトロ（MRT）より割安になる場合もあります。また、鉄道網が発展途上にある中、タクシーはタクシー配車アプリ「Grab」の普及等により、利便性はより向上しています。ただし、バンコク市内は渋滞が多く、タクシーに乗ったものの全く進まないといったことも多々あるので利用には注意が必要です。

2. タクシー

タイで利用できるタクシーは主にメータータクシーとGrabタクシーがあります。メータータクシーには個人タクシーと会社タクシーがあり、色によってどちらであるかを見分けることができます。「イエローとグリーン」のツートーンカラーのタクシーが個人、それ以外のツートーンカラー、ワンカラーが会社タクシーとなります。会社タクシーについてもタイ国内においては日割りレンタルの自営業者に近いものとなっています。タイ運輸省が管轄しており、事業者はタクシー組合、もしくは民間企業です。タイ国内のタクシードライバーはタクシー組合に加入・登録することでタクシー業を行うことができます。なお、ドライバーは昼夜2交代制のシフトを決めて車両を借りますが、時間を超過すると罰金が発生するため、車両返却間際などは乗車拒否される場合もあります。タクシーは町中を常に走っており、走行距離と乗車時間によって料金が決定します。基本料金（初乗り料金）は一律35タイバーツ（約122円）で走行距離によって料金が加算されます。また、渋滞などで走行距離が増えない場合も一定時間ごとに料金が加算されます。

タクシーに乗車する上で最も重要なのは、乗車前に目的地とメーターを使用することを確認することです。メーターの不使用は違法ですが、特に観光地周辺などでは不使用が横行しているのが実情です（一部スワンナプーム国際空港等で乗るメータータクシーはメーター料金に上乗せ料金があります）。バンコクは基本的にすべての通りに「ソイ」と呼ばれる番号が付けられており、バンコク中心部を東西に横切るスクンビット通りは南側が偶数の通り、北側が奇数の通りとなっています。目的地をドライバーに伝える際に、ホテル名等を伝えても理解してもらえないことが多々ありますが、その場合はソイを伝えると通じやすいです。

Grab タクシーは、シンガポールに拠点を構え、2013 年にバンコクに進出した配車サービスです。東南アジアではタイのほか、ベトナム、フィリピン、マレーシア、インドネシア等で普及しています。スマホにアプリをインストールし、アプリ上で配車を行いますが、バンコク市内であれば、5 分程度で指定場所に迎えに来てくれ、配車依頼時に目的地を入力しているため、行先を口頭で伝える必要もありません。利用料金はメータータクシーと比較して割高ではありますが、配車依頼時に料金が確定するのでぼったくりに遭う心配もありません。また、クレジットカード払いも可能で利便性が高いです。

Grab タクシーをめぐるのは、一般タクシードライバーとの間で度々客の奪い合いとみられるトラブルが発生しています。また、プーケットなど一部地域では Grab タクシーが利用しにくい（Grab タクシーが周囲にいない）場合もあります。

タイのタクシー



出典元：<https://www.skyseeker.net/>

3. バイクタクシー

バイクタクシーはオートバイの後部座席に客を乗せるもので、交渉することでどこでも行ってくれます。バンコク市内は渋滞が多く、車では短い距離でも時間がかかることがあります。バイクタクシーなら渋滞を回避して目的地にたどり着くことができます。ただし交通事故も多いので、利用する際には注意が必要です。在タイ日系企業によっては駐在員のバイクタクシーの利用を禁止しているところもあるようです。

バイクタクシーは走行中のドライバーを呼んで乗車することもできますが、ソイ（通り）の入り口等に乗り場がありそこで乗車するのが一般的で、目印はドライバーが着用しているオレンジ色のベストです。手ごろなことから利用客は多く、時間帯によっては列をなしていることもあります。タクシーのように初乗り料金はなく、乗車時に値段を交渉します。なお、Grab タクシーのバイク版である Grab バイクも存在します。

4. その他交通手段

トゥクトゥクはタイの象徴的イメージにもなっている小型オート三輪です。タイ観光ガイドに載っていることも多く、タイを訪れたら一度は乗ってみたい乗り物です。吹きさらしでベルト等はなく、乗車料金は基本的に観光客価格なため、移動手段としてはおすすしめしません。しかし、適度な移動距離で、かつ値段交渉ができれば旅の思い出になることは間違いありません。また夜はネオンが光り、記念に写真を撮るのも良いです。

シーローはトゥクトゥクとタクシーを足して2で割ったような乗り物です。小型バンの荷台に屋根が付いて簡単な座席があるもので、スーパーの近くなどに待機していることが多い乗り物です。そのため観光にはあまり使用しませんが、値段も安いので短距離の移動には適しています。乗車前に行先を伝え、値段を聞き乗車します。なお、メーターはついていません。

トゥクトゥク



出典元：<https://www.howtravel.com/asia/>

シーロー



出典元：<https://www.thaich.net/>

5. おわりに

タクシーはタイにおける移動手段のうち最も利用頻度が高いものです。タイ人は日本人に対して親切だと言われることもありますが、ぼったくりをするドライバーもいるため、利用には注意が必要です。交渉が不安な場合は事前に Grab タクシーのアプリを入手し利用する手段もあります。タイの交通機関としては、BTS などの鉄道・電車、タクシー、トゥクトゥクやシーロー以外にもバスや渡し船などもあります。それぞれ利用方法や注意点を知り、安全にタイを楽しんでいただければ幸いです。タイへご出張をされる際は、お気軽に山口フィナンシャルグループへご相談ください。

(タイ駐在員 石丸 将伸・山口 新吾)

【参考文献】

Grab Taxi HP

<https://www.grab.com/sg/>

ASEAN JAPAN HP

<https://www.asean-j.net/41230/>

ラフィフル HP

<https://singainfo.com/?p=10262>

パタヤ日本人会 HP

<https://pattaya.ja.com/2019/11/27/7771/>